

大岡地区

第2期計画の振り返り（平成22～27年度）

☆隣近所を大切にしよう！

日常的に声をかけ合い、助け合いのできる地域づくりのために・・・

【成果】

- ・町内会などの団体と連携し、地域住民同士が交流できる行事を実施しました。
- ・健康福祉まつりや音楽祭など趣向の異なる内容を企画し、幅広い世代が参加できるよう工夫しました。
- ・身近な場所である学校を会場とし、生徒へも協力を呼びかけることで、学校との交流が深まりました。



大岡地区音楽祭

【今後に向けて】

- ・高齢者や障がい者などの要支援者への理解を深め、地域で支えあう仕組みをつくります。
- ・学校や施設・企業・商店などと協働し、福祉保健活動への意識を高めます。
- ・新たな交流事業を検討し、住民同士の交流の機会を増やします。

地域活動を活性化するために・・・

【成果】

- ・連合と地区社協、関係する各団体が集い、より良い地域づくりを目的に話し合う場「連絡協議会」を発足しました。
- ・連絡協議会で各団体の代表が顔を合わせ活動や課題を共有する中で、団体個々の活動から横のつながりが生まれました。
- ・のぼり旗を作成し、各行事で掲げ地区社協活動のPRをしました。



連絡協議会

【今後に向けて】

- ・様々な世代が地域活動に関心を持ち、活動に参加できるよう学校や施設・商店などとの連携を進めます。
- ・交流事業を継続し、より多くの人が活動に関わるようにします。
- ・連絡協議会で共有した地域課題についての対応を検討します。

地域活動や福祉保健サービスの情報を、共有化するために・・・

【成果】

- ・地区社協広報紙「大岡地区社協だより」を年2回発行し、世带回覧するほか、学校や施設へ配布しました。
- ・広報編集委員会で掲載内容を協議し、福祉保健に関する情報だけでなく、学校や施設の紹介、町内会などの団体の取組を掲載し、様々な地域活動を発信しました。
- ・行事ごとにちらしを掲示・配布し、より効果的に情報を伝えました。



大岡地区社協だより

【今後に向けて】

- ・これまで掲載していない団体の活動を紹介するなどして、読者の層を広げます。
- ・交流事業やサロンなどの福祉保健活動を発信することで、地域の関心を高めます。
- ・地区社協広報紙を活用し、災害時に必要な情報を地域に発信します。

子育て世代を支えるために・・・

【成果】

- ・乳児とその家族を地域で見守る場として、0歳児対象の子育てサロン「ほっぺ中里」「ほっぺ大岡」を開設しました。
- ・子育てサロンほっぺとして地域の行事に参加し、活動のPRをしました。
- ・親子が地域で孤立することを防ぐため、サロンで地域の情報をお知らせしました。



ほっぺ中里

【今後に向けて】

- ・身近な交流・相談できる場所としてより地域に根差したサロンとなるよう、様々な方法でPRします。
- ・地域の集いの場は高齢者にも必要とされているため、新たな居場所づくりを検討します。

第3期計画（平成28～32年度）

地域の特色

(データ=平成26年9月末日現在)

弘明寺駅と上大岡駅の中間的位置で、大岡川を挟んで東西の尾根までで形成された、地形なりの戸建て住宅地区です。

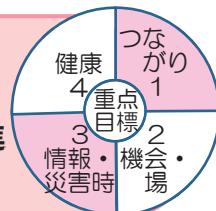
地区人口=約17,200人
年少人口比率=11.7%
高齢人口比率=23.6%
総世帯数=約8,300世帯
平均世帯規模=約2.1人



隣近所を大切にしよう！

日ごろから声をかけあい、支えあえる地域づくりのために・・・

5年後の将来像：隣近所が顔見知りになることで日常的な見守りが進み、非常時には支えあう関係ができている。

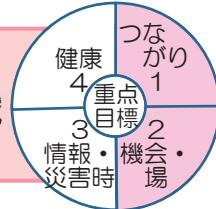


具体的な取組等

- ・高齢者や障がい者などの要支援者への理解を深めるための研修・勉強会を実施し、思いやりの心を育みます。
- ・学校や施設・企業・商店と協働して事業を進めることで、地域全体で見守る体制をつくります。
- ・交流事業やサロン活動などを通じて学校や近隣とのつながりを強めます。

地域活動が活性化するために・・・

5年後の将来像：地域の様々な関係者が「連絡協議会」に属し、地域の課題解決に向けて話し合うことができている。

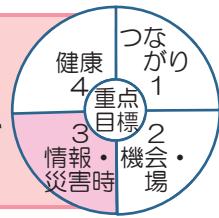


具体的な取組等

- ・「連絡協議会」の目的や取組を広く発信し、賛同者を募り活動を充実させます。
- ・交流事業へより多くの参加を呼びかけ、高齢者の活躍の場や、関わる人を増やすことで新たな活動者を育てます。
- ・個々の組織を超えて課題を共有し、関係機関と連携しながら解決を図ります。
- ・転入者や共働き世帯などが気軽に地域活動へ参加できる方法を検討します。

日常の地域活動や災害時に必要な福祉保健情報を共有するために・・・

5年後の将来像：地区社協広報紙が身近な地域の情報紙として活用され、災害時に必要な情報が地域に行き届いている。

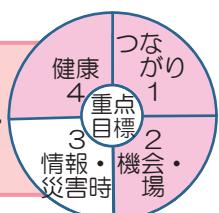


具体的な取組等

- ・学校や施設・企業・商店など様々な福祉保健活動の様子を取材し、地域の関心を高めます。
- ・地域防災拠点などの要援護者支援の取組を充実させ、活動の様子を発信することで地域の防災や支えあいの意識を高めます。
- ・災害時避難場所などの災害時に必要な情報を届けます。
- ・地区社協や自治会・町内会、民児協などの地域活動を紹介し、情報発信を充実させます。

高齢者や子育て世代を地域で支えるために・・・

5年後の将来像：高齢者や子育て世代が身近な場所に集い、近隣同士で交流する機会ができる。



具体的な取組等

- ・子育てサロンが安定して運営できるよう、駅や商店等へも協力を呼びかけ多くの子育て世代へPRします。
- ・山坂の多い地域でも高齢者が気軽に外出できるよう、より身近なところで集う場づくりと介護予防・健康づくりの取組を進めます。
- ・サロン活動を通じて地域で見守る体制をつくり、高齢者や子育て世代の孤立を防ぎます。
- ・学校と連携して、子どもと高齢者の居場所をつくっていきます。